

2006年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 4

働き者の太田さん



整形外科学 片山 一雄

シート 1

大田さんは 55 歳、女性。仕事はレジ係で、いつも滑らかなタッチで仕事をしています。最近、右手にしびれや痛みを感じるようになりました。

【抽出を期待する項目】

- 1) レジを打つ際に作用する手および手掌部の筋肉・腱および関節。
- 2) しびれとは？；通常しびれ感とはビリビリ・ジンジン感であり感覚障害である。一方、しびれて動かないともいう。これは、運動障害も伴っている。人によって表現が異なる。しびれの原因は、感覚障害、運動障害、感覚＋運動障害、血行障害のいずれか。
- 3) 手掌部のしびれの原因の鑑別；末梢神経障害（頰椎症性神経根症、上腕神経障害、胸郭出口症候群、肘部管症候群など）と中枢神経障害（頰椎症性脊髄症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、）の鑑別。
- 4) 前腕から手掌部の 3 つの末梢神経（正中、橈骨、尺骨神経）の解剖・走行・機能（運動と感覚）について。

シート 2

次第に、そのしびれは、夜間・起床時に強く生ずることが多く、手を振ることで楽になります。心配になり整形外科を受診しました。医師は、医療面接と身体所見をとりました。

【抽出を期待する項目】

- 1)しびれによる ADL 障害
- 2)問診内容 (外傷歴、基礎疾患、仕事内容)
- 3)上肢の神経所見；反射・感覚・筋力・筋萎縮
- 4)頰椎症性神経根症との鑑別；Spurling test (徒手誘発検査)
- 5)円回内筋症候群(pronator syndrome)との鑑別
- 6)手および手関節の外観
- 7)手根管症候群の誘発試験；

シート 3

診察の結果、太田さんは、診断名を告げられ、さらに検査が必要と説明されました。

シート 3

診察結果

- ・ 外傷歴や基礎疾患なし
- ・ 仕事は、レジ係、5年。
- ・ しびれの範囲は、右手掌側の母指から環指の橈側半分である。
- ・ 母指球の筋萎縮、母指の対立筋力および短母指外転筋力の低下。
- ・ 手関節を屈曲するとしびれが増強する。
- ・ 手関節部掌側の叩打による手指への放散痛あり。
- ・ 橈骨動脈の拍動は良好で、左右とも手掌部は暖かい。
- ・ 肘の屈曲、回内などで、肘周囲の痛みや放散痛なし。
- ・ 反射；正常。
- ・ 膀胱・直腸障害なし。
- ・ Spurling test；陰性
- ・ 頸椎および手の X 線写真；いずれも異常なし。

【抽出を期待する項目】

- 1) 正中神経の障害
- 2) 手根管症候群の診断
- 3) 手根管症候群の誘発試験
- 4) 手根管の解剖
- 5) 重複神経圧迫症候群 (double crush syndrome)
- 6) 電気生理学的検査の意義

シート 4

医師から検査結果の説明がありました。

運動神経伝導速度検査：右側；潜時 6.0 ms

左側；潜時 3.4 ms

感覚神経伝導速度検査：右側；神経伝導速度計測できず

左側：神経伝導速度 54 m/s

この後、診断と治療法について説明がありました。

【抽出を期待する項目】

- 1)電気生理学的検査の評価
- 2)手根管症候群の診断と病期分類
- 3)手根管症候群の原因
- 4)手根管の解剖
- 5)治療方法：保存、手術